

## 特集序文

室原豊明\*

このたび、「心臓疾患の治療－最新のトピックス－」というタイトルで、特集を組ませていただくことになった。日本人の死因としては毎年がんが1位になり、非常に注目されているところではあるが、これはすべてのがんによる死亡の総和であり、各臓器別のがんに細分化すると個別の順位は下がる。一方で、心疾患による死亡は2位であり、しかも増加している。さらに全世界でみていくと、死因の第1位は依然として虚血性心疾患つまりは急性心筋梗塞であり、2位は脳卒中となっており、心血管病による死亡がグローバルな社会問題となっている。このような背景から日本でも、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」（いわゆる脳卒中・循環器病対策基本法）が2018年末に制定され

るに至り、今後脳卒中・循環器病の制圧に向けたさまざまな政策が講じられることになる。

今回このようなベスト・タイミングで、「心臓疾患の治療－最新のトピックス－」を提供できるのは、うれしい限りである。本特集では、虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈、慢性血栓閉塞性肺高血圧症などの最新の治療に関する話題を提供いただき、さらにこれらの循環器疾患の末期に生ずる重症心不全患者の管理を心臓移植も含めて解説いただき、さらには最近注目されている心不全末期患者に対する緩和ケアについて、国内の5名の著名な先生方から解説をいただいた。いずれもたいへん忙しいご勤務のなか、原稿を執筆いただいた先生方に深謝したい。また本企画が、広く皆様の循環器診療の知識の整理に役立つ事を祈念する。

\* Toyoaki Murohara : 名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学